

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	高等教育機関の設置検討事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第5章-3-(4)-エ 生活圏の充実	
担当部課名	企画政策部	企画調整課	事業実施 年度	平成 28	令和 2	年度 III-9	
事業内容	実際の高等教育機関の運営形態に近似する学生募集・入学・就学・卒業・就職の一連の流れを実施することで、本市における高等教育機関設置に向けた実現性の検証を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	14,148	32,959	36,300	52,800	136,207	
	B. 執行済額	12,027	23,141	35,019	52,800	122,987	
	うち 交付金充当額	10,342	18,512	28,014	42,240	99,108	
	執行率(%) (B/A)	85.0%	70.2%	96.5%	100.0%	90.3%	
執行状況の説明	全体の執行率は90.3%となっており、概算契約による契約金額と清算金額の差額であるので、予算規模は適正であったと考えている。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
	高等教育機関の設置に向けた調査・検討業務の実施	目標			実施		
		実績			実施		
	高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の実施	目標				実施	実施
		実績				実施	実施
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			○年度	○年度	H30年度	R1年度	R2年度
	高等教育機関の設置に向けた調査・検討業務の完了	目標	-	-	完了	-	-
		実績	-	-	完了	-	-
	高等教育機関の設置実現に向けた、課題の把握	目標	-	-	-	完了	-
		実績	-	-	-	完了	-
高等教育機関の設置実現に向けた実証業務の完了	目標	-	-	-	-	完了	
	実績	-	-	-	-	完了	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R4年度 目標/発現年度
	【R4成果目標】 定住環境整備のための高等教育機関の設置1校以上。	目標	設置調整	1校 (整備中)	-	-	1校 (整備中)
		実績	設置調整	1校 (整備中)	-	-	1校 (整備中)
		目標					
	実績						
状況説明	<p>【R3年度】 ・設置に向け調整していた高等教育機関がコロナ禍の影響もあり、事業撤退となった。一方で本市の高等教育機関誘致の取り組みに興味を持った別の高等教育機関が設置に関心を持ち、設置に向け取り組むこととなった。</p> <p>【R4年度】 ・設置意向のある高等教育機関が本市の廃校跡地を利活用し、改修工事を実施。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R3年度】 ・コロナ禍の影響により、当初設置意向であった高等教育機関が設置困難となった。一方で、本市の誘致事業に関心を持った高等教育機関が設置に向け取り組んでいくこととなった。</p> <p>【R4年度】 ・本市の廃校跡地を利活用し、着工することとなった。 ・令和6年度開校予定</p>			<p>【R3年度】 ・コロナ禍の影響により、当初設置意向であった高等教育機関が設置困難となったことで、他の事業者と調整し、高等教育機関を設置する運びとなったため、コロナ禍の影響を考慮しつつ事業を進捗させる必要があった。</p> <p>【R4年度】 ・工事の進捗状況を把握しつつ、市としては継続して協力していく必要がある。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R3年度】 ・当初想定していた事業者が設置困難となったことと、他の事業者が関心をもったことにより、高等教育機関誘致の実現に向け継続して取り組んでいく必要がある。</p> <p>【R4年度】 ・工事の進捗状況を把握しつつ、継続して協力して取り組んでいく。</p> <p>【R5年度】 ・工事の進捗状況を把握しつつ、継続して協力して取り組んでいく。</p>							

市町村名		宮古島市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	城辺地区世代間交流施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ 子育てセーフティネットの充実		
担当部課名	福祉部 (こども家庭局)	児童家庭課 (子育て支援課)	事業実施 年度	令和 1 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	III-4	
事業内容	児童の居場所を確保することによる保護者の負担軽減及び高齢者の生きがいづくりを図るため、城辺地域に子どもや高齢者など多世代が集い、交流できる機能などを備えた施設を整備する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	4,178	17,230	127,400		148,808	
	B. 執行済額	3,974	17,230	126,480		147,684	
	うち 交付金充当額	3,179	13,784	101,184		118,147	
	執行率(%) (B/A)	95.1%	100.0%	99.3%		99.2%	
執行状況の説明	入札残が生じたため適宜予算減額を行い、不用額を抑制。予算現額と執行済額に大きな乖離はなく適正に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	建設工事の実施	目標	(基本計画の策定完了)	(基本設計及び実施設計の完了)	(建設工事の完了)		
		実績	基本計画の策定完了	基本設計及び実施設計の完了	建設工事の完了		
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	建設工事の完了	目標	(基本計画の策定完了)	(基本設計及び実施設計の完了)	(建設工事の完了)		
		実績	基本計画の策定完了	基本設計及び実施設計の完了	建設工事の完了		
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R4年度				R4年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	①施設利用により育児負担軽減が図られたか(80%以上)を含め、児童保護者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	80.0%			80.0%
		実績	97.2%			
	②施設利用により生きがいづくりに寄与したか(80%以上)を含め、児童と交流した高齢者に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	80.0%			80.0%
		実績	92.2%			
状況説明	<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館の延べ利用人数10,672人、子育て支援センターの延べ利用人数1,281人(531組)、交流施設の延べ利用人数10,678人 利用者アンケートを実施した結果、児童保護者の育児負担軽減、高齢者の生きがいづくり寄与について共に9割を超える高い水準での満足度を得られた。 					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域住民への利用促進の周知、定期的な交流イベント等の実施により、児童館、交流施設ともに利用者が延べ1万人を超えており、順調に利活用が図られている。 地域交流の拠点としての機能を発揮しており、これまで交流する機会が乏しかった地域の高齢者、子育て世代、児童の多世代交流が生まれている。 	<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の交流拠点、子育て支援、高齢者の生きがいづくりの場として引き続き利活用が図られるよう、利用者のニーズに寄り添った取り組みを実施していく必要がある。 アンケートの内容も、子育て世代、高齢者世代から改善要望はなく、好意的な内容になっているため、継続して施設の適正運用に取り組んでいく。
---	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開設から1年が経過し、利用者のニーズ等の把握もできつつあることから、これまでの取組みを継続しつつ、地域の専門的知識を有した高齢者や外部の専門家の知見を活かした取組みを新たに実施することで、地域の交流拠点の場としての機能をより強固にし、育児負担の軽減、高齢者の生きがいづくりの推進を図っていく。
--

市町村名	宮古島市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	宮古島市海業センター整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-イ 農林水産業の振興	
担当部課名	農林水産部	水産課	事業実施 年度	平成 24	令和 3	年度 III-1-(6)	
事業内容	水産物の安定的な種苗生産供給及び種苗栽培の技術者育成を図るため、宮古島市海業センターの機能強化整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中 の予算額 ・執行額 【単位:千円】		~H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	539,232	206,990	56,746	82,000	884,968	
	B. 執行済額	539,232	206,990	53,665	79,117	879,004	
	うち 交付金充当額	431,386	161,330	42,932	63,294	698,942	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	94.6%	96.5%	99.3%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度は資材調達に時間を要し工事が遅れ、翌年度に繰り越した。 ・H30年度は資材調達や漁業者との調整により工事が遅れ、翌年度に繰り越した。 ・R1年度は積算に時間を要し工事が遅れ、翌年度に繰り越した。 ・R2年度は期間内に工事を完了。 ・R3年度は期間内に工事を完了。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R2年度	R3年度	R4年度
	・海業センター取水施設工事の実施	目標	取水管敷設工事 現場監理業務 磁気探査業務	—	機械設備工事 環境影響調査業務	供用開始	—
		実績	取水管敷設工事 現場監理業務 磁気探査業務	—	機械設備工事 環境影響調査業務	供用開始	—
	・海業センター水槽施設工事の実施	目標	水槽工事実施設計	水槽設置工事	水槽設備工事	供用開始	—
実績		水槽工事実施設計	水槽設置工事	水槽設備工事	供用開始	—	
・海業センター研修施設工事の実施	目標	—	—	—	研修施設建築工事 現場監理御油無 備品購入	供用開始	
	実績	—	—	—	研修施設建築工事 現場監理業務 備品購入	供用開始	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			R1年度	R2年度	R2年度	R3年度	R4年度
	・海業センター取水施設工事の完了	目標	取水管敷設工事の完了 現場監理業務の完了 磁気探査業務の完了	—	機械設備工事の完了 環境影響調査業務の完了	供用開始	—
		実績	取水管敷設工事の完了 現場監理業務の完了 磁気探査業務の完了	—	機械設備工事の完了 環境影響調査業務の完了	供用開始	—
	・海業センター水槽施設工事の完了	目標	水槽工事実施設計の完了	水槽設置工事の完了	水槽設備工事の完了	供用開始	—
実績		水槽工事実施設計の完了	水槽設置工事の完了	水槽設備工事の完了	供用開始	—	
・海業センター研修施設工事の完了	目標	—	—	—	研修施設建築工事の完了 現場監理業務の完了 備品購入の完了	供用開始	
	実績	—	—	—	研修施設建築工事の完了 現場監理業務の完了 備品購入の完了	供用開始	

事業完了後の取り組み						
成果目標(指標)	達成/進捗状況	達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度
<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	目標	25,000 匹	25,000 匹	25,000 匹	25,000 匹	25,000 匹
	実績	0 匹	2,070 匹	14,267 匹	0 匹	12,200 匹
シラヒゲウニ稚ウニの安定した種苗生産	目標	140,000 匹	140,000 匹	140,000 匹	140,000 匹	140,000 匹
	実績	109,789 匹	100,461 匹	0 匹	0 匹	0 匹
タイワンガザミ稚ガニの種苗生産	目標	320 人	320 人	320 人	320 人	320 人
	実績	192 人	210 人	0 人	0 人	80 人
研修施設利用者数の増員	目標	5,000 枚	5,000 枚	7,500 枚	7,500 枚	7,500 枚
	実績	4,338 枚	5,545 枚	9,876 枚	10,418 枚	8,997 枚
【参考指標】 もずく種付け枚数	目標	5,000 枚	5,000 枚	7,500 枚	7,500 枚	7,500 枚
	実績	4,338 枚	5,545 枚	9,876 枚	10,418 枚	8,997 枚
事業完了後の成果目標 状況説明	【R2年度】 ・台風の影響により停電で海水や酸素の供給が出来なくなりタイワンガザミ(親ガニ)とシラヒゲウニ(稚ウニ)が全滅。タイワンガザミの親ガニが確保出来ないため、種苗生産を断念。シラヒゲウニは親ウニを確保し、稚ウニを生産したが目標数量を達成できなかった。 ・新型コロナウイルスの影響により、海業センター施設の利用を制限したため、目標数量の達成は出来なかった。					
	【R3年度】 ・新型コロナウイルスの影響により沖縄本島からのシラヒゲウニ(稚ウニ)の購入を断念。タイワンガザミの親ガニが確保出来ないため、種苗生産を断念し、目標数量達成には至らなかった。 ・新型コロナウイルスの影響により、海業センター施設の利用を制限したため、目標数量の達成は出来なかった。 ・水槽完成により、もずくの種付けに着手し、目標値を達成した。					
	【R4年度】 ・シラヒゲウニ(稚ウニ)を令和5年2月に購入し育成中。タイワンガザミの親ガニが確保出来ないため、種苗生産を断念。 ・研修施設の利用可能となったが、目標数量の達成には至らなかった。 ・水槽完成によりもずくの種付けに着手し、目標値を達成した。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)		【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R4年度】 ・育苗生産数量が下回っていることについて、天候等の影響もあり、島内事業者から親子個体の購入が出来ず、育苗生産に必要な個体(親)の確保が課題。 ・研修施設の使用については、新型コロナウイルスの影響により学校等の自粛が見られる。 ・もずくの種苗生産枚数については、天候等の影響もありR2,R3年度を下回ったものの、栽培漁業推進協議会の目標値を達成することができた。		【R4年度】 ・全水槽の常時稼働、育苗生産に努める必要がある。 ・今後、漁業で安定した収入が得られるような魚介類の種苗生産に努める必要がある。 ・漁業者及び学校関係者への施設活用に向け、市の広報誌等で情報を発信するなど継続的なPR活動を行う。 ・もずくの種付けで、施設を活用する漁業者も多く、需要が高い状態がつづいているため、安定生産のために継続して、漁業者と協力し取り組んで行く。 ・現在、種苗生産しているタイワンガザミが安定生産していないため、飼育方法の再検討、または他の魚介類への生産変更も検討し、施設の有効利用に努める。 ・種苗生産の有識者を招き、漁業者、施設職員のスキルアップを図る。				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R4年度】 ・施設利用の呼びかけ、種苗生産用個体(親)の確保を行う。 ・現在種苗生産している魚介類以外の種類(シヤコ貝等)の種苗生産を検討し、施設の有効活用に取り組む。 ・令和3年度研修施設建築工事を実施し、漁業者及び学校関係者への施設を活用に向け、市の広報誌等で情報を発信、広報活動を実施し、継続的にPR活動を行う。 ・種苗生産の有識者を招き、漁業者、施設職員のスキルアップを図る。						